

愛知県 ITS 推進協議会の取組について

1 交通事故データ等を活用した交通安全アプリの研究

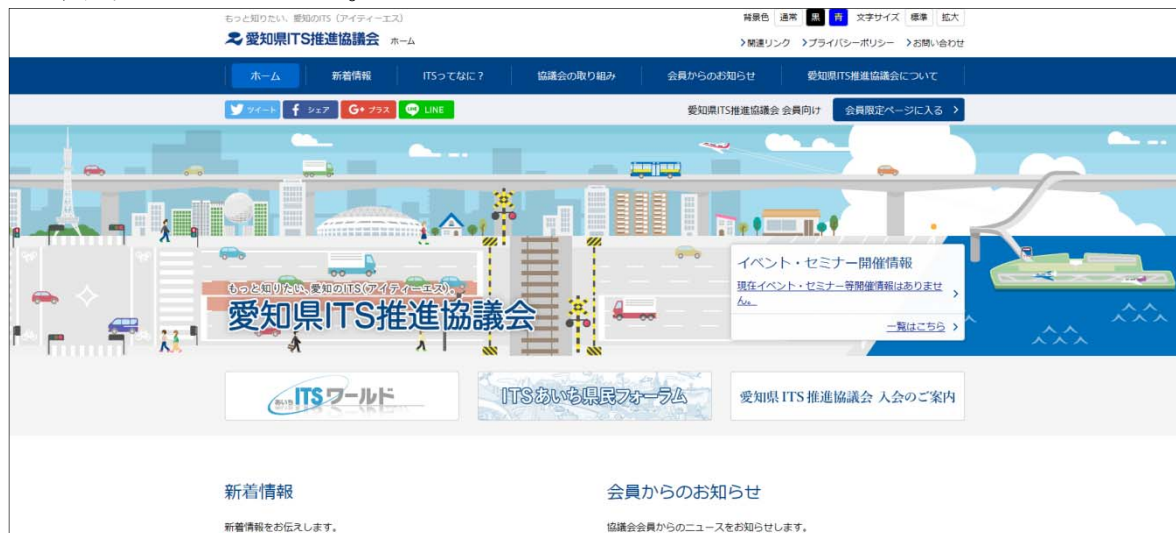
- 愛知県 ITS 推進協議会（事務局：振興部交通対策課）では、「安全・安心な愛知づくり」に向けた活動の一環として、平成 27 年度に交通安全をテーマに官公庁が保有するデータを活用した ITS の活用方を会員に募集。
- 交通事故データ等を活用した以下 2 件の研究について、協議会の「ITS 安全・安心グループ」会議（座長：名古屋大学 森川 高行 教授）において交通安全への有効性や実現可能性を検討の上、愛知県警から提供を受けた交通事故データ（愛知県内（過去 10 年分））及び助成金を協議会から提案者に交付し、平成 28 年度支援事業として実施。
- 研究の概要は、協議会ホームページ (<https://aichi-its.jp/>) で紹介中。また、本年 11 月開催の「あいち ITS ワールド 2017」でも紹介する予定。

研究テーマ・内容	注意喚起のイメージ
<p>【テーマ】 交通事故データ分析に基づくドライバーへの注意喚起アプリの開発（名古屋工業大学 伊藤 孝行 教授（特別会員））</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県内全域の交通事故データを活用し、交通事故データについて条件別（時間帯、路面状況、死亡等の事故レベルなど）を分析し、地点毎の事故の特徴を抽出。 ・ユーザー情報（運転車種（大型乗用車、普通乗用車、軽自動車など）、年齢、性別）を設定し、ユーザーに応じた交通安全を注意喚起（音声、画面表示など）するアプリケーションを作成。またヒートマップ表示により事故多発地点などを可視化。 	 <p>過去に軽傷事故が発生した地点接近を注意</p>
<p>【テーマ】 運転者属性に応じた交通安全情報の提供に向けた交通事故危険地点の抽出（名古屋大学 山本 俊行 教授（特別会員））</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市で観測された交通事故データなどを用い、運転者属性（性別・年代）や車両属性（自動車、自転車など）、天候等の状況、道路幅員や車線数、交差点形状などの道路構造、交通量の関係性について統計的分析を行い、道路構造や交通量が交通事故に及ぼす影響について把握。 ・把握した結果をもとに、運転者属性や車両属性ごとに、交通安全の注意喚起（音声、画面表示など）が可能なアプリケーションを作成。 	 <p>自動車事故多発交差点接近を注意喚起</p>

平成 29 年 9 月 13 日
愛知県振興部交通対策課

2 ホームページのリニューアル

- ITS に関する最新情報や協議会の活動を広く PR するため、協議会のホームページを全面的にリニューアル。



【ホームページアドレス】 <https://aichi-its.jp/>

☆リニューアルの主なポイント

(1) デザイン・構成の一新

より見やすく、探しやすいデザイン・構成にリニューアル。

(2) スマートフォンやタブレット端末への対応

端末の画面サイズに最適化された Web ページを表示。

☆QR コードを読み取ることで簡単にアクセス可能。



(3) ITS 紹介ページの充実

ITS や関連するさまざまな技術やサービスについてわかりやすく解説。

(4) 会員限定ページの新設

会員限定の情報提供（セミナー等で配付した講演資料のダウンロードなど）、会員相互の情報共有を促進。

3 「あいちITSワールド2017」の開催（第20回名古屋モーターショー同時開催）

主 催：愛知県 ITS 推進協議会、中部経済新聞社

日 時：平成 29 年 11 月 23 日（木・祝）～26 日（日）（4 日間）

会 場：名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）第 1 展示館内

内 容：ステージイベント（特別講演、大学の ITS 研究紹介など）、

（予定）展示企画（企業等による ITS 関連技術の展示紹介）、試乗会など